

2024年度 産学公連携一覧

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要　＊200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

＜美術工芸学科＞

1	上賀茂アートプロジェクト	2024/8/20- 2024/8/23	上賀茂アートプロジェ クト実行委員会	美術工芸学科	出口　雄樹	2024年8月20日～2024年8月23日に上賀茂神社にて行われた上賀茂アートプロジェクトのイベントとして、重要文化財である「庁屋（ちょうのや）」にて大学院日本画コースの学生作品と行灯の展示を実施。また、イベントに関連し柊野小学校にて行灯制作のお手伝いをする出張授業を開催した。	8	なし
2	画材文具フェスティバル	2024/6/1ー 2024/10/1	ホルベイン画材株式会 社	美術工芸学科	岩泉　慧 森本　玄	京都芸術大学美術工芸学科は画材メーカー大手のホルベイン画材株式会社を始めとする各画材メーカーと画材の見本市である「画材文具フェスティバル」を、美術工芸学科の社会実装プログラムの一環として本学ギャラリー・オーブにて、2024年の9月下旬に開催した。普段学生が目にし、使用する画材をより広く、深く知ってもらいたいという画材メーカーと美術工芸学科、双方の思いが一致し、この学科社会実装プログラムが計画、実践された。 本プログラムに参加することで、使用者としてだけでなく、画材メーカーの視点に立ち、来客者に対し画材の説明をすること等をとおして理解が深まるとともに、自身の技法材料に関する知見を多く得ることができた。	33	なし
3	みずほ銀行京都支店130周年記念事業 みずほ銀行京都支店　× 京都芸術大学　展示企画	2024/11ー 2025/3	みずほ銀行 京都支店	美術工芸学科	高橋　耕平 池田　光弘 竹内　万里子 福本　双紅 大河原　光	みずほ銀行と京都芸術大学が共同で、実際に営業中の銀行空間を会場とした展覧会を開催した（展覧会タイトル『Skeptically Curious：価値の変成をめぐる複数の試み』）。 本展では、貨幣システムを支える「信用」や「価値」という概念を、美術のあり方と重ね合わせて提示した。SNSやメディアを通じた情報が溢れ、デジタル通貨や投資への関心が高まる現代において、価値の変成をめぐる多様な作品や資料を通して、「信用」や「価値」の在り方を多層的に考察する場を創出した。	10	なし
4	ARTCOM2024	2024/7/8ー 2024/7/18	けいはんな記念公園	美術工芸学科	後藤　雅樹	2024年7月8日～2024年7月18日に京都府が運営する「けいはんな記念公園」で美術工芸学科総合造形コース3年生26名と4年生1名が、野外作品展を実施。	27	あり

＜キャラクターデザイン学科＞

1	京都芸術教育コンソーシアム	2024/4/1ー 2025/3/31	Art-e Kyoto連携協議会	キャラクターデザイン学科	村上　聡	Art-e Kyoto連携協議会の活動の一環として、京都の芸術大学と小中学校が連携した芸術教育の発展を目指す。 本学では例年北白川小学校との連携研究を行っており、村上が小学校の先生を対象とした研修会を実施し、本学の表現教育の手法を共有している。 https://kyoto.artandhandicraft.net/web/?page_id=216	0	なし
2	こども科学博2024フォトブース制作	2024/4/1ー 2024/8/1	株式会社NHKエデュ ケーションナル	キャラクターデザイン学科	植木　豊	キャラクターデザイン学科植木ゼミ内で学生15名程度が、2024年8月2日～4日にみやこめっせで開催される「こども科学博2024」内に展示する「テクノロジーのチカラフォトブース」のデザインを提案し、採用案で使用する小道具類を制作した。イベントは主催・稲盛財団、企画制作・NHKエデュケーションナルが担当する。本件はNHKエデュケーションナルから展示の一部を委託企画、制作を行うという社会実装プロジェクトである。	13	あり
3	パナソニックインダストリーコンデンサ「SP-Cap」キャラクター・動画制作プロジェクト	2024/4/1ー 2025/2/28	パナソニック インダストリー株式会社	キャラクターデザイン学科	植木　豊 藤本　和宏	パナソニックインダストリー宇治拠点内のショールームリニューアルに伴い、同拠点で製造の導電性高分子アルミ分解コンデンサ(SP-Cap)のキャラクター制作、および、同コンデンサに関する動画制作を行う。キャラクター、動画ともに2025年にリニューアルするショールームに展示される予定。	15	あり
4	イトーキ「スマートキャンパス構想」企画制作	2024/9/1ー 2025/12/31	株式会社イトーキDX 推進本部デジタルソリューション企画統括部	キャラクターデザイン学科	矢野　浩二 植木　豊	イトーキが提唱する「スマートキャンパス構想」は、未来の教育環境を創造するためのビジョンで、デジタル技術を活用して、学生の成長や創造性を発揮できる。未来のキャンパス環境の構築を目指しており、単なる設備の改善に留まらず、学びの質を向上させる新たな仕組みや、カリキュラムデザインの提供に主眼を置いている。今回のプロジェクトでは、同構想に学生たちが独自の視点を加え、独創的で革新的なアイデアを提案。特に「The OECD Learning Compass 2030」を活用して、学習者一人ひとりの目標達成を支援するための指針を、デザインに組み込むアプローチが特徴である。	47	あり
5	2024年京阪百貨店クリスマスイベントにかかるキービジュアルの制作	2024/6/1ー 2025/1/31	株式会社京阪百貨店	キャラクターデザイン学科	太木　裕子	京阪百貨店5店舗（守口店、くずはモール店、ひらかた店、モール京橋店、すみのどう店）において、11月初旬~12月25日までの期間に展開するクリスマスのビジュアルとなるイラストを制作した。 ◎ビジュアルについて/最終案は京阪百貨店にて選定	19	あり

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要　＊200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
6	河内屋 × 京都芸術大学× 六本木蔦屋書店　商品デザイン	2024/11/1－ 2025/3/1	株式会社共同製作社	キャラクターデザイン学科	太木　裕子	六本木蔦屋が実施する若手アーティストの応援プロジェクトである「六本芽」第2回目のプロジェクト。 本プロジェクトでは特殊印刷の河内屋、キャラクターデザインコースの学生、六本木蔦屋とのコラボで江戸時代の日本画をセレクトし特殊印刷を使い現代にあった文房具としてデザインする。採用された作品は、河内屋で印刷され六本木蔦屋にて販売される。（ポストカード8種類　リングノート3種類）	34	あり
7	京まふクリエイターズコンテスト受賞作品展示の装飾	2024/11/27－ 2024/12/22	イオンモール株式会社	キャラクターデザイン学科	石鍋　大輔	京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ2024）にて、主催者京都市と企画を進めてきた京まふ初のイラストコンテスト。京まふイベント後にイオンモールにて展示展開と発展したプロジェクト。	11	なし
8	FULALI KYOBASHI イーストスクエアでの新感覚デジタル似顔絵ブース by マイびよんの実施	2024/11/15－ 2024/11/17	株式会社ベストプロデュース	キャラクターデザイン学科	石鍋　大輔	卒業生が就職したイベント会社からの依頼。キャラクターデザイン学科企画プロデュース。ゼミで代々行ってきたキャラクターメイクのイベント「キャラちえん！！」を通信会社オプテージ様の周年イベントでの一つの催しとして採用されたものである。	10	なし
9	cafeヴェルディにおけるシャドーハウスとのコラボ商品のデザイン	2024/3/1－ 2024/11/30	株式会社ヴェルディ	キャラクターデザイン学科	太木　裕子 鴨志田由貴	アニメーション「シャドーハウス」とのコラボ商品の企画。カフェヴェルディで販売される商品のキャラクターデザイン。パッケージデザイン。販促チラシなどのデザインを行った。	48	あり
10	京都府タクシー協会のライドシェアに係る研究委託	2024/9/24－ 2025/2/28	京都府タクシー協会	キャラクターデザイン学科	鴨志田　由貴 野村　誠司	京都府タクシー協会からの委託研究として、ライドシェアサービスの可能性と課題に関する調査分析を実施した。この研究成果を学科の授業活動に取り入れ、学生主導でアニメーション制作プロジェクトを展開。学生たちはライドシェアの社会的意義や地域交通における役割を視覚的に表現するアニメーション作品を企画・制作した。この取り組みを通じて、交通サービスの未来像を創造的に発信するとともに、産学連携による実践的な学びの場を実現。研究とクリエイティブ表現を融合させた本プロジェクトは、新たな交通システムへの理解促進と学生の専門性向上に寄与した。	25	あり
11	神社本庁イラスト制作	2024/6/1－ 2024/8/30	神社本庁 株式会社イノベーションアーティスト	キャラクターデザイン学科	矢野　浩二 藤本　和宏 渡邊　賢一	神社本庁ホームページリニューアルに際し『古事記』『日本書紀』にも記されている日本の神々の系譜や物語に関するイラストレーションを制作。また神社本庁より神道講義に来校いただきストーリーマンガを制作した。 神社本庁は伊勢神宮を本宗と仰ぎ、昭和21年設立以来、祭祀の振興と神社の興隆、日本の伝統と文化を守り伝えることに努めてきた。 本プロジェクトは、日本文化の歴史遺産を数多く有する京都の教育機関である京都芸術大学との提携により、自然より成り出でる八百万の神々と、現在において世界に影響を及ぼす日本のキャラクターデザインとの思想的関連性の共同研究推進プロジェクトの一環として取り組みを行った。	21	あり

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要　＊200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

<情報デザイン学科>

1	情報デザインPJ5　ひらかたパーク×京都芸術大学産学連携プロジェクト	2024/4/1－2024/7	京阪電気鉄道株式会社 ひらかたパーク	情報デザイン学科	齊藤　信和 山下　光恵	毎週金曜日／3＆4講時（13:40～15:20＋15:40～17:20 合計200分）　3年生／前期／Max30人想定。 個人制作＆グループ制作選択可とし、企画書（課題提出物）はA4ヨコ5枚以内で作成した。 優秀な企画やデザインは、各企業において商品化されたり、広報宣伝活動において採用される可能性がある。	33	あり
2	情報デザインPJ5　食のおくすり×京都芸術大学　産学連携プロジェクト	2024/5/1－2024/6	株式会社 食のおくすり	情報デザイン学科	齊藤　信和 山下　光恵	株式会社 食のおくすりとの連携を通じ、学生たちは企画立案に留まらず、食と健康について深く調べ、考える機会を得た。また、この取り組みが大学の教育効果を高め、学生たちの成長に寄与するとともに、大学のブランド力向上にも繋がると期待される。いくつかの採用候補となる企画が生まれ、今後の連絡を待ってる。	33	あり
3	電通グループ人権アートプロジェクト2024	2024/9/1－2024/12	株式会社電通	情報デザイン学科	渡邊　有希	電通で制定された人権スローガンをもとに学生がビジュアルデザインを考え、人権ポスターを制作する活動。テーマは「部落差別をなくすために」「性的少数者の人権のために」「多文化共生社会のために」の3つ。電通に在籍する現役クリエイターの指導のもと、メッセージを伝えるポスターを学生一人ひとりが制作した。人権週間である12月4日から10日までの学内展示の他に、電通関西支社でのサイネージ掲示が行われ、今後各地での展覧会開催や、人権保護に関するイベントにポスターを貸し出すなどの活動が行なわれている。	10	なし
4	農林水産省 NIPPON FOOD SHIFT 連携プロジェクト	2024/4/1－2025/1	農林水産省 株式会社 地域力活性化研究室	情報デザイン学科	服部 滋樹 村川 晃一郎	農林水産省は「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」をスローガンとする国民運動を展開している。本プロジェクトはその取り組みの一環として、デザインを学ぶZ世代の学生が「食品ロス」や「食料自給率」など様々な日本の「食」に関する問題・課題を探究し、解決のアイデアを創出するPBL型授業として実施。チームに分かれフィールドリサーチや東京農業大学へのヒアリングを行い、アイデアを生むところからアウトプットの制作までを一気通貫して取り組んだ。その成果は、東京や大阪で開催されているニッポンフードシフトのイベントにて発表。学生自身のプレゼンテーションと制作した作品をグループ展で紹介した。	48	あり
5	KYOTO駅ナカアートプロジェクト2024	2024/5/1－2025/2/28	京都市交通局 京都商工会議所	情報デザイン学科	楠本　孝美、 八木　良太、 高橋　知里、 河田　学	京都市交通局主催の「駅ナカアートプロジェクト」は、芸術系大学を中心とした8大学の学生によるアート作品で、京都の地下鉄駅を明るく、活性化する目的の事業。今年度、京都芸術大学では情報デザイン学科と、文芸表現学科「上終歌会」学生の協働により、地下鉄東山駅構内に「短歌で彩る駅ナカアート・きょうの交差点」というテーマで作品展示を行った。	10	なし
6	デザインシンキングを活かして、「移動の未来を考えよう」	2024/11－2024/12	トヨタ自動車株式会社	情報デザイン学科	太田　高揚 疋田　淳喜	「デザインシンキングを活かして、移動の未来を考えよう」をテーマにトヨタ自動車株式会社の担当者に来校いただき、全4回の講義を実施。授業のテーマは、【『移動の価値』を見つめなおし、皆様が期待する「未来の移動の姿を創造」してください】《“クルマ”の移動から“クルマ以外”の移動体験にイノベーション、そして“移動”を広く捉え今のご概念では移動ではなくてもリアルな移動に代わる、移動と同じ価値が生み出すイノベーション》を目標にユーザージャーニーを作成、インダストリースワップ法というフレームワークを用いて、企画提案を実施した。	82	あり
7	デザインシンキングを活かして、「万博を契機にやってくる外国人が 西日本圏も周遊したくなるような施策を考えよう」	2024/12/19－2025/1/16	MUIC Kansai（一般社団法人関西イノベーションセンター）	情報デザイン学科	太田　高揚 疋田　淳喜	「デザインシンキングを活かして、万博を契機にやってくる外国人が西日本圏も周遊したくなるような施策を考えよう！」をテーマにMUIC Kansai（一般社団法人関西イノベーションセンター）のご担当者様にご来校いただき、全4回の講義を行った。授業は西日本観光の課題を整理した上で、モダン・ラグジュアリー層をターゲット顧客として設定し、ユーザージャーニーマップを作成したうえで、ブランドエクイティピラミッドやインダストリースワップ法というフレームワークを用いて、企画提案を実施した。	5	なし
8	株式会社都松庵 リブランディングプロジェクト	2024/4/25－2024/5/30	都松庵	情報デザイン学科	見増　勇介	ブランディングを意識したデザインのアウトプット ・プロジェクトに関わる人々がやりがいを感じながら収益を上げ、消費者や人々の生活を豊かにし、みんなに「ファン」になってもらうための計画と実行。 ・(株)都松庵様にお越しいただき、実践形式で「ブランディングデザイン」を体験する。	29	あり
9	京都芸術大学×農林水産省×UCHU BREWING NIPPON FOOD SHIFT	2024/6/1－2025/1	農林水産省 うちゅうブルーイング	情報デザイン学科	齊藤　信和 村川　晃一郎 服部　滋樹	農林水産省は「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」をスローガンとする国民運動を展開している。本プロジェクトはその取り組みの一環として、山梨県北杜市でビールを製造・販売する「うちゅうブルーイング」と、宇宙を楽しく学び、宇宙に関する制作活動を行う本学のサークル「宇宙部（SOLAB）」がコラボレーションし、3種類のクラフトビールの企画・デザインを行った。 農林水産省主催「NIPPON FOOD SHIFT FES.東京」「NIPPON FOOD SHIFT FES.大阪」では学生が販売も実施した。	15	なし

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要　＊200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

<プロダクトデザイン学科・クロステックデザインコース>

1	株式会社CAMPFIRE	2024/4－ 2025/1	株式会社CAMPFIRE	クロステックデザインコース	吉田　大作	プロダクトデザイン学科クロステックデザインコースの1、2年生の必修授業において、クラウドファンディング、ECサイトの運営、リアルな場所での販売を実施。その際、クラウドファンディングの導入から実施に向けたアドバイスを株式会社CAMPFIREのご担当者様から随時アドバイスやフィードバックを受ける。	84	あり
2	PD・XTC合同授業におけるデザインリサーチと製品提案	2024/9－ 2025/3	株式会社オブテージ 株式会社ディレクションズ	クロステックデザインコース	白石　晃一 風間　重之	京都芸術大学　プロダクトデザイン学科・情報デザイン学科の合同授業において、「株式会社オブテージ」「株式会社ディレクションズ」と協働し、ポストコロナの時代における私たちの生活の在り方を探るために、デザインリサーチ手法である「カルチュラルプローブス」を用いて、その調査結果を踏まえた企画。製品の提案を行った。	25	あり
3	生成AIを活用した将来のユースケースをPoCにて検証・評価し、今後のサービス・製品開発のコンセプトを策定するための共同研究	2024/12/1－ 2025/3/20	シャープ株式会社	クロステックデザインコース	小笠　原治	生成AIを活用したプロトタイプのユースケース研究を実施。対話型ウェアラブルデバイス「AI SMART LINK」および「Neighbuddy」について、UIデバイスとしての可能性と課題を検証し、SHARP株式会社へのプレゼンテーションを行った。今後も引き続き、共同研究を継続する。	1	なし

<プロダクトデザイン学科>

1	無印良品/マルシゲ紙器との産学連携授業	2024/4/1－ 2024/8/18	株式会社良品計画　無印良品 京都山科 有限会社　マルシゲ紙器	プロダクトデザイン学科	北條　崇	マルシゲ紙器の製造技術を用いて、無印良品京都山科に商品の提案を行う。（無印良品とは3回目の産学連携授業）4月に双方の店舗見学、8月に提案、店舗でのプレゼンを行った。また、同時に「暮らしをつくるものづくり展」として作品展示会を行った。	16	あり
2	パナソニック産学連携プロジェクト	2024/4/12－ 2024/7/26	パナソニック株式会社 デザイン本部	プロダクトデザイン学科	時岡　英互	「2035年の京都の未来の暮らし」をテーマに、企業の第一線のプロと現場から学び、あるべき未来の姿を構想して、新コンセプトデザイン提案に繋げる。	16	あり
3	KOKUYO & KUA	2024.9.23－ 2025.1.24	コクヨ株式会社	プロダクトデザイン学科	大江　孝明	学生は、どのように学び、どのように自分を育むか？その時に必要なデザインとは？をテーマに研究を実施した。企業における実践的なデザインと、大学に置ける探究的なデザインの融合で、新しいデザインの境地が拓けた。今後の授業作りはもちろん、成果は学募にも良い影響がもたらされる。	16	あり
4	NISSHA x KUA	2024/9/27- 2025/1/24	NISSHA株式会社	プロダクトデザイン学科	風間重之	NISSHA CMF&Designチームの商品開発の知見を、広くトレンド分析から素材制作、商品化イメージ展開までを指導いただいた。素材開発に対してはデザイナーにも参加いただきレビューを行った。	16	あり

<空間演出デザイン学科>

1	アートコスプレ・フェス2024	2024/6－ 2024/8	大塚国際美術館	空間演出デザイン学科	伊藤　正浩	徳島県鳴門市にある大塚国際美術館は古代から現代まで約1000点にのぼる西洋名画を陶板でオリジナル作品と同じ大きさに再現し展示されている。 大塚国際美術館の夏の風物詩である絵画の世界に飛び込んだかのような没入感を味わいながら絵画の主役になりきって撮影ができる体験型イベント、アートコスプレフェスの衣装としてサージェントの「カーネーション、リリー、リリー、ローズ」の子供用サイズを制作した。	4	なし
2	京都ブランド「SOU・SOU」コラボレーションプロジェクト	2024/4/1－ 2024/7	若林株式会社/SOU・SOU	空間演出デザイン学科	伊藤　正浩 若林　剛之	地域アイデンティティを持つローカル・ブランドとの連携によるファッション・ブランドを制作する。SOU・SOUとの協働を続け、伝統産業を残すには多大な努力と魅力的なデザインが必要なことを学び、社会に発信する。京都ブランド「SOU・SOU」と弥生時代に生まれた貫頭衣をベースに三重県伝統工芸品である伊勢木綿を使用した服の企画・デザイン・制作を行い、販売・接客までを行った。企画から販売までのプロセスを学んだ。	18	あり
3	Limited shop by KIWI seminar “Patchble” @藤井大丸	2024/4/1- 2024/8	株式会社 藤井大丸	空間演出デザイン学科	藤井　良平	京都の百貨店「藤井大丸」と京都のファッションブランド「KIWI」との連携により、期間限定のショップを展開。商品企画・制作・販売・接客までを行った。テーマを「Patchble」とし、簡単に消費されない、愛着の持てるものづくりをめざし、独自のアイデアでの商品制作を実践した。また、再生可能素材や廃棄された日常品を再利用した空間づくりなどを行いサスティナビリティにも触れた展示となった。	24	あり
4	ソーシャルイベント - 地域交流を通じて暮らしを見つめ直す	2024/4/1－ 2024/8	亀岡市文化芸術課	空間演出デザイン学科	安川　雄基	社会の課題解決を実践するために、地域の自治体と連携し、地域イベントを企画・制作・運営する授業。亀岡市のフィールドワーク、インタビューなどのリサーチをもとに、亀岡市内の公共の場でイベントを実施。 今年度は、「でいぐでいぐかめおか」というイベントをKIRI CAFEで開催。亀岡の美味しい野菜、きれいな水、美しい自然は「地」の魅力にあると考え、亀岡のこどもたちと「地」に触れるイベントをKIRI CAFEにて開催した。若者が出ていってしまっ て戻ってこないという課題から、こどもたちが亀岡の魅力を再認識するために、土や植物を使ったワークショップやイベント限定メニューを提供した。	17	あり

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要　＊200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

<環境デザイン学科>

1	株式会社長栄とのワンル ームマンションのリフォー ム案の提案(Stamp!)28&29期	2024/4/1－ 2025/3/31	株式会社長栄	環境デザイン学科	木村　淳子 勝野　明美	学生リフォームプロジェクト【StamP!-スタンプ-】は賃貸マンション管理会社である株式会社長栄との産学連携プロジェクト。 学生が「自分たちが住みたいと思う部屋」のリフォームプランを考え、実際に施工し、市場へ出すという企画。	20	なし
2	三井住友信託銀行 / 北山杉 を用いたロビー空間のデザ イン及び製作	2023/12/1－ 2025年2月28	三井住友信託銀行株式 会社	環境デザイン学科	松本　尚 矢津　吉隆 中村　紀章	三井住友信託銀行支店の待合ロビーに、京都の北山杉を使用した空間デザインを行うプロジェクト。中川京北での産地見学や生 産者との意見交流を行い、地域や産業の現状を共有した。環境デザイン、美術工芸学科の学生が協働し、3Dモデリングやモック アップなどさまざまなツールを使いながら、北山杉を新しい視点で捉え待合空間のデザインに取り組んだ。	8	なし

<映画学科>

1	新北白川派映画プロジェク トの設立準備	2024/4/1－ 2028/3/31	静岡県立大学	映画学科	山本起也	映画学科のプロジェクトとしてこれまで8本の劇場公開映画を制作、公開してきた「北白川派プロジェクト」。俳優やスタッフな ど、映画界で活躍する人材を多数生み出してきたこのプロジェクトを再開すべく、京都芸術大学尾池前学長が理事長・学長を務 められていた静岡県立大学と連携。本学映画学科の学生や静岡県立大学の学生、静岡県民などと緩やかに関係を構築しながら、 静岡を舞台に、【新北白川派】映画『うさぎの足跡（仮）』の制作、2027年の公開を目指す。	12	なし
---	------------------------	------------------------	--------	------	------	--	----	----

<舞台芸術学科>

1	京都府警被害者遺族支援訓 練プロジェクト	2024/8－ 2024/9/	京都府警察本部警務課	舞台芸術学科	平井　愛子	（一財）京都府交通安全協会が交通安全の啓もうを目的として毎月第3土曜日にゼスト御池で開催しているイベントにおいて、本 学科でミュージカルを学ぶ学生たちが歌やダンス、安全運転のための体操などを披露する。	7	なし
2	交通安全協会@ゼスト御池 プロジェクト	2024/5－ 2025/2	一般財団法人京都府交 通安全協会	舞台芸術学科	平井　愛子	（一財）京都府交通安全協会が交通安全の啓もうを目的として毎月第3土曜日にゼスト御池で開催しているイベントにおいて、本 学科でミュージカルを学ぶ学生たちが歌やダンス、安全運転のための体操などを披露する。	16	なし
3	三京えのきこども園　背景 画制作プロジェクト	2024/7/1－ 2024/11/30	社会福祉法人えのき会 三京えのきこども園	舞台芸術学科	平井　愛子 大津　英輔	三京えのきこども園が開催している園児によるミュージカル公演の舞台美術（背景画）をデザイン、制作する。	11	なし

<文芸表現学科>

文芸表現学科は0件								
-----------	--	--	--	--	--	--	--	--

<アートプロデュース学科>

1	豊中市立文化芸術センター の来場者に関する調査と分 析	2024/5－ 2025/3	株式会社JTBコミュニ ケーションデザイン 豊中市立文化芸術セン ター	アートプロデュース 学科	山下　里加	豊中市立文化芸術センターが主催するアウトリーチ事業「ふれアート」を対象に、その意義・価値を、ステークホルダー（豊中 市と指定管理者、派遣されるアーティスト、受け入れる小中学校、施設・団体など）で共有・検討できる土台となる、調査票の 作成。	12	あり
2	茨木市おにクルにおける ワークショップの開催	2024/11/1－ 2024/12/29	・茨木市 ・サントリーパブリシ ティサービス株式会社	アートプロデュース 学科	山城　大督	小中学生を対象にした、映像のワークショップ『おにクル大学 映像メディアコース「ふれる映像をつくろう！」』を実施しまし た。おにクルの子育てフリースペース「わっくる」に設置された映像作品『ワンダー・ウォール』の新たなシーンを参加者が制 作した。	5	なし
3	ロームシアター京都におけ るワークショップの開催	2024/5/1－ 2024/8/31	公益財団法人京都市音 楽芸術文化振興財団	アートプロデュース 学科	山城大督 蔭山陽太	ロームシアター京都が主催する子どもを対象にしたイベント「プレイ！シアター in Summer」の一角「わくわくワークショップ & マルシェ」にて幼児を対象にした、子どもワークショップ『トコトコカラフル大作戦！』を実施した。	12	あり
4	「高槻城公園芸術文化劇 場」における子どもを対象 にしたワークショップの企 画運営	2023/9/20－ 2024/1/20	高槻城公園芸術文化劇 場 公益財団法人高槻市文 化スポーツ振興事業団	アートプロデュース 学科	山城 大督	2023年にリニューアルオープンした大阪府高槻市の劇場「高槻城公園芸術文化劇場」。市民が劇場をさらに親しみを持って関わ れる仕掛けを企画立案する依頼を受け、アートプロジェクト演習を受講する学生がオリジナルコンテンツを開発し提案し実施し た。2022年度にアートプロデュース学科として企画協力した『高槻芸術時間「インターロード」』で構築した高槻市との関係性 をさらに発展することに寄与した。2024年度も継続して実施を予定している。	9	あり
5	「高槻城公園劇術文化劇場 オープンデー ふらっと♪ TAT」における企画運営業 務	2024/8－ 2024/9	公益財団法人高槻市文 化スポーツ振興事業団	アートプロデュース 学科	蔭山　陽太 ナップ・ジュ リエット・レ イコ	（公財）高槻市文化スポーツ振興事業団主催にて、多くの方に劇場や芸術文化を身近に感じてもらうことを目的として開催。 「高槻城公園芸術文化劇場」南館（2023年新設）全体を使用しホール見学会や無料コンサート、ワークショップなど多数プログ ラムを実施。学生視点のプログラムも企画することで、同世代である若者などより一層幅広い世代に劇場の魅力を発信する。	22	あり

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要　＊200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

<こども芸術学科>

1	子ども向け玩具の提案	2024/4/1－ 2025/3/31	株式会社足立ライト工 業所	こども芸術学科	廣瀬　敏史	こども芸術学科廣瀬ゼミ（Cゼミ）3回生10名が参加し、0～3歳児向けの知育玩具を企業と合同で開発した。現在商品化に向け試作品を企業が制作中。	10	あり
2	高校生のアイデア×福祉作 業所の技術×芸大生のデザ イン～高校生が軸とな り、新たな連携で地域がつ ながるキッカケを創り出す	2024/10－ 2024/12	滋賀県立大津商業高等 学校	こども芸術学科	北後　佐知子	大津商業高校には高校版DMO観光ビジネスプロジェクトの一環として「観光」をテーマに滋賀県の地域活性化を測ることを目的とした授業があります。その中で高校生が、障害福祉サービス事業所れもん会社と連携し滋賀の魅力発信と観光客の誘客に繋がるように商品開発を行いました。商品の魅力をより多くの人に届けるため、滋賀県出身のこども芸術学科の学生2名がデザインの力を発揮しました。プロジェクトを通して地域に根ざしながら地域を超える、新たな繋がりが創られました。	2	なし
3	京都新聞ジュニアタイムズ	2024/4－ 2025/2	京都新聞社	こども芸術学科	彦坂　敏昭	京都新聞が発行するジュニアタイムズにて「こがくのこうさく道場」を連載。	25	なし
4	2024年度ロームシアター京 都自主事業「プレイ！シア ター　in Summer 2024」 オープンデイ　京都芸術大 学こども芸術学科「あん ふぁんずー」ワークショッ プ	2024/8/17－ 2024/8/18	ロームシアター京都、 京都市	こども芸術学科	河村　浩世	京都芸術大学　こども芸術学科「あんふぁんずー」 こども芸術学科は、「こども」「芸術」「教育・保育・福祉」をキーワードに、こどもの学びをデザインし、幼児教育・保育の新しい実践を創る学科である。学科内サークルの「あんふぁんずー」の学生が夏祭りワークショップの企画を計画から全て実施した。今まで培われた学びが形となって社会に還元された。	10	なし

<歴史遺産学科>

1	京都市考古資料館・京都芸 術大学歴史遺産学科　合同 企画展	2025/12/14- 2025/1/26	京都市考古資料館	歴史遺産学科	宇佐美　智之	本プロジェクトでは、京都市考古資料館および本学歴史遺産学科による合同企画展「ZOUKEI：かたどられるモノたち」を開催した（場所：京都市考古資料館1階特別展コーナー）。歴史遺産学科の学生（主に2・3回生）が中心となり、展示企画の構想や運営、市民向けワークショップ・展示解説、子供向け解説会等の関連イベントを実施した。本企画展は新聞各紙でも報道され、来館者は32日間で計2,253名と盛況であった。来館者アンケートからも多くの方々から高評価を頂いた。	7	あり
2	湧水町_お茶室体験および ワークショップの実施	2024/8/20- 2024/8/23	湧水霧島アートな旅推 進協議会	歴史遺産学科	木村　栄美	鹿児島県湧水町と本学は、2017年より文化芸術の振興及び地域発展を目的として、毎年湧水町において、オブジェの共同制作、作品展示会などを実施し、地元の子供たちにアートを楽しんでもらうためのワークショップを開催している。2022年には共同連携協力協定を締結した。24年度は湧水町から選抜された中学生6名が8月20日から23日まで古都・京都を訪れ、本学において昔ながらの技術を使う紙漉き、茶室「颯々庵」にて茶の湯、また紙による近世茶室の模型、起こし絵図制作を実施し、本学ならではの藝術と歴史のワークショップを体験してもらい、学生との交流を深めた。	4	なし
3	株式会社千總所蔵美術工芸 品の調査研究	2021/9－ 2026/8	株式会社千總ホール ディングス	歴史遺産学科	増渕　麻里耶	本プロジェクトは歴史遺産学科における社会実装プログラムとして、株式会社千總が所蔵する美術工芸品の学術調査研究に本学学生が参画し、当該資料の社会的活用に寄与するものである。 授業では、型友禅の絵刷冊子の写真撮影によるドキュメンテーションと、資料に記された当時の商いの記録を読み解く作業を中心にを行っている。これらの作業を通して歴史遺産学科の初年次から2年次までに基礎トレーニングを受けたスキルをブラッシュアップする。 座学や模擬資料を用いた基礎演習だけでは身につけることのできない「作業の精緻さ」の意識付けや責任感の醸成にもつながり、技術面のみならず人間力の育成にも寄与するものである。	22	あり
4	奈良県立民俗博物館連携協 定	2017年度より 毎年度更新	奈良県立民俗博物館	歴史遺産学科	溝邊　悠介	県立クラスとして全国唯一の民俗専門博物館である奈良県立民俗博物館の収蔵資料を修復実習教材として借用し、文化財保存修復の技術教育、有形民俗文化財の研究利用として活用するものである。2024年度は博物館学芸員と協議して保存処置が必要な優先度の高い資料86点を選定して実習に臨んだ。また、来歴の分からない資料の歴史的価値を調査する資料調査も課外活動として有志で実施した。	22	あり
5	大学共同利用機関法人人間 文化研究機構国立民族学博 物館と京都芸術大学との学 術交流・協力に関する基本 協定	2024/3/19- 2027/3/19	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立 民族学博物館	歴史遺産学科	溝邊　悠介	契約期間内の各年度において、国立民族学博物館の研究設備利用、収蔵施設の見学等を通して学生に最先端の研究手法に触れる場を提供し、また相互に連携協力した保存修復領域・文化人類学領域の研究により、学術研究の成果を社会に還元する目的で協定を結んだ。2024年度では学外演習として国立民族学博物館の展示室と収蔵庫・分析室を見学し、博物館資料の保存と活用、研究についてディスカッションした。	13	なし
6	京都市左京区旧修学院荘の 管理と保存活用	令和2年度よ り毎年更新	京都市	日本庭園・歴史遺産 研究センター、歴史 遺産学科	仲　隆裕 宇佐美　智之	歴史的風土特別保存地区内に所在する旧修学院荘の緑地管理と保存活用を依頼されたものである。歴史遺産学科では、庭園の調査と保存整備に関する実習を行い、また将来の公開活用計画を検討するため、交換留学生を交えて茶室と露地を舞台とした展示を行なった。	20	あり

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要　＊200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

<芸術教養センター>

1	隠岐の島PJ	2024/8/1－ 2024/11/30	松江・境港・隠岐観光 振興協議会	芸術教養センター	森岡　厚次	フィールドワーク、リサーチと提案をベースにした活動。 本学前理事長、徳山詳直のゆかりの地である、隠岐の島（島根県隠岐郡海士町）などの物産品を学園祭にて販売することにより 地域貢献を行った。	6	なし
2	祇園祭り提灯プロジェクト	2024/6/15－ 2024/7/31	雨柳デザイン事務所	芸術教養センター	森岡　厚次	雨柳デザイン事務所からの依頼で、初年次教育のねぶた授業で培った技法を用いて、祇園祭振興洗い「お祝い提灯行列」に参加 するためのオリジナル行灯制作の依頼を受けた。3名のメンバーでクライアントとデザインの打ち合わせを行い、完成納品までを 行った。	3	なし
3	松江水燈路PJ2024	2024/4/1－ 2024/10/31	一般社団法人松江観光 協会	芸術教養センター	森岡　厚次	本件は一般社団法人松江観光協会と本学の産学連携事業。島根県松江市の秋のイベント「松江水燈路」に合わせ、①イベント実 施期間中、松江城内の会場にて、展示するライトアップモニュメント（アカリチドリねぶた）を学内で制作し現地で展示する。 ②地域交流イベントを考え、実施する（小犬ねぶた、子猫ねぶたの制作ワークショップ）の一連を行う地域活性化プロジェク ト。	6	なし
4	南座看板制作プロジェクト （前期）	2024/4/16－ 2024/7/30	南座	芸術教養センター	丸井　栄二 藤部　恭代	400年という伝統を持つ南座の正面入り口に掲げられる一文字看板のデザインを作成し、そのデザインを手描き看板にして納品す る。2024年度前期は「レビュー in Kyoto」の演目について看板を作成した。単にデザインを考えるだけでなく、学生は京都市景 観条例について も学び、実際の社会で使用できるデザインについての見地も広げた。京都市景観条例という厳しい条件の中で新 鮮なデザインを考え、そのデザインを10mを超えるサ　イズで手描きで再現するという2つの大きなハードルを学生は超えることが できた。	47	あり
5	南座看板制作プロジェクト （後期）	2024/9/24－ 2025/1/14	南座	芸術教養センター	丸井　栄二 藤部　恭代	400年という伝統を持つ南座の正面入り口に掲げられる一文字看板のデザインを作成し、そのデザインを手描き看板にして納品す る。2024年度後期は後期は「初笑い！松竹新喜劇　新春お年玉公演」の演目について看板を作成した。単にデザインを考えるだ けでなく、学生は京都市景観条例について も学び、実際の社会で使用できるデザインについての見地も広げた。京都市景観条例 という厳しい条件の中で新鮮なデザインを考え、そのデザインを10mを超えるサ　イズで手描きで再現するという2つの大きなハー ドルを学生は超えることができた。	49	あり
6	栗田大燈呂プロジェクト	2024/4/1－ 2025/3/31	栗田大燈呂実行委員会	芸術教養センター	山田　純 森岡　厚次	京都東山にある栗田神社。天保3年以前に途絶えたといわれる栗田神社の「夜渡り神事」を、180年ぶりにアートで復活させ今回 で17年目となる。 長年かけて積み上げてきた学生たちの取り組みが、栗田地域の方々との信頼を築き、京都のお祭りを地域の大学が支え、文化を 守り続けていく中で、次世代の感性を取り込み発展させていくようになったといえる。学内においても、栗田プロジェクトへの 参加希望者が年々増加し、人気プロジェクトへと発展を遂げた。 卒業生もお祭りには京都に帰郷して第二の故郷として地域創生に貢献している。	26	あり
7	フコクアトリウム空間プロ デュースプロジェクト	2024/4/1－ 2025/3/31	富国生命保険相互会社	芸術教養センター	山内　庸資 森　太三 森岡　厚次	大阪駅前にある大阪富国生命ビルの地下1階アトリウム「フコク生命の森」の空間演出をおこなうプロジェクト。 夏、冬とも、制作した作品を梅田を行き交う何万人もの方々に見ていただく事ができた。また、毎年行っているアンケートには 多くの観覧者のアンケートが寄せられ、私たちの作品がどのように社会に影響を与えることができるのか、梅田を行き交う人々 の生の声を聴かせていただく事で大きな学びとなった。	19	あり
8	京おどりねぶたプロジェク ト2024	2024/1/26－ 2024/4/22	主催:宮川町お茶屋組 合・学校法人 瓜生山学 園	芸術教養センター	森岡　厚次	初年次教育で修得したねぶた技法とそれぞれの学科での学びを集結させ、京おどりの舞台上で披露される山車（ねぶた型タイムマ シーン）を協働でつくるプロジェクト。 本学の瓜生山キャンパス内にある京都芸術劇場 春秋座で開催する、京都の風物詩である「京おどり」を鑑賞したり、モノづくり を通して参加することで、京都ならではの伝統的な文化に触れ、豊かな情操を培い、学びに向かう力を育む。 開催期間：2024年4月6日(土)～21日(日)	42	なし

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要 * 200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
9	台湾国際交流プロジェクト 2024-25	2024/9/19－ 2025/1/17	都市藝術工作室 Urban ART Studio (台湾)	芸術教養センター	森岡 厚次	このプロジェクトは、海を越えて台湾の地で合宿を行い、現地にて12日間かけて水に浮かぶ巨大な光のオブジェを制作する海外滞在型プロジェクトです。後期授業での活動では、大学にてプロジェクトメンバー同士コミュニケーションを図りながら、事前打ち合わせや材料の準備、小さなパーツ制作を行い、現地での制作に備える。 毎年、旧正月に開催される台南市のランタンフェスティバル「2025月津港燈節」に参加します。本学としては6回目の参加となり、2024年から引き続きの参加となった。 多くのアーティストが参加し、作品を通して芸術や文化交流を図るとともに、国境を越えた絆を深めることが出来るこのプロジェクト。立体造形にしっかりと取組みながら、海外の斬新なアイデアに触れ、キャリアアップにもつながるこれまでにない制作系プロジェクト。	15	あり
10	瓜生山イルミネーション	2024/9/24－ 2025/1/14	蒼山会	芸術教養センター	森岡 厚次 安田 有莉加	京都芸術大学の入口になる人間館の柱や大階段付近を灯りによってアートな空間に演出し、学内や地域の方々、また白川通を行き交う人たちにイルミネーションを楽しんでいただくプロジェクト。2005年から始まり2024年度で19年目を迎える。 今年のイルミネーションのタイトルは『MINE』。イルミネーションの「輝き」から、人々の過去の思い出や今の日常、日々の努力こそが、あなたの内なる輝きであるということに気付いて欲しいという思いがこめられている。 また、「鉱石」とは削り磨かれ形を整える宝石の前段階。社会に出る前、大学に通う学生を「鉱石」に見立てて、学生ひとりひとりの成長を示唆している。	44	あり
11	学園祭お化け屋敷プロジェクト	2024/4/1－ 2025/1/14	蒼山会	芸術教養センター	森岡 厚次	学園祭の大人気企画である「おばけ屋敷」の企画、制作、運営ができるプロジェクト。京都の地で「人はなぜ怖いものに惹かれるのか」「本当の恐怖とは何か」をグループワークで学び、企画の「軸」となるストーリーを作るところから始めた。蒼山会から補助金を受け、チラン制作やPR動画を撮影・編集する広報チーム、世界観や設定を考案する脚本チーム、衣装・メイク担当、小道具・仕掛け作り担当、音・光の演出担当等に分かれて準備し本番はキャスト等も全員で取り組んだ。	45	あり
12	HAPii+2024 済生会滋賀県病院（前期）	2024/4/1－ 2024/8/31	社会福祉法人 恩賜財団 済生会滋賀県病院	芸術教養センター	箭内 新一 由井 武人 平山 健宣	病院という人の健康や命と関わる現場であるからこそ、アート・デザインの質、客観性、普遍性などがより厳しく求められる。 「誰のために」と「何のために」を問うホスピタルアートは、学生にとってアート・デザインの社会的価値と効果をよりリアルに実感できる機会となる。芸術の力が社会の中で求められるプロセスを学生が体感し経験することができる教育的効果と本学の芸術立国の理念によって社会実装を実現したプロジェクトとなっている。過去数年、ホスピタルアートの施工依頼、問い合わせが増えていることも確かな実績が本学への評価の表れとなっている。前期は、事業内保育施設の施工を行った。	23	あり
13	HAPii+2024 済生会滋賀県病院（後期）	2024/4/1－ 2024/8/31	社会福祉法人 恩賜財団 済生会滋賀県病院	芸術教養センター	箭内 新一 由井 武人 平山 健宣	病院という人の健康や命と関わる現場であるからこそ、アート・デザインの質、客観性、普遍性などがより厳しく求められる。 「誰のために」と「何のために」を問うホスピタルアートは、学生にとってアート・デザインの社会的価値と効果をよりリアルに実感できる機会となる。芸術の力が社会の中で求められるプロセスを学生が体感し経験することができる教育的効果と本学の芸術立国の理念によって社会実装を実現したプロジェクトとなっている。過去数年、ホスピタルアートの施工依頼、問い合わせが増えていることも確かな実績が本学への評価の表れとなっている。後期は、小児科プレイルーム及び処置室の施工を行った。	33	あり
14	京都大学フィールド科学教育研究センター 第6回新しい里山里海の勉強会報告書（仮称）制作業務制作業務	2024/4/1－ 2024/7/31	京都大学フィールド科学教育研究センター	芸術教養センター	丸井 栄二 中山 博喜	京都大学との大学間連携の一環として、京都大学フィールド科学教育研究センターが開催した「第6回新しい里山里海の勉強会報告書（仮称）」の内容を取りまとめた報告書の作成を担った。	4	なし
15	おおい町 SEE SEA PARK アトリウムにおける作品展示・イベントの開催プロジェクト	2025/2/1－ 2025/3/31	リライトおおい株式会社	芸術教養センター	丸井 栄二 藤部 恭代	福井県おおい町を代表する官民協同の商業施設SEE SEA PARKで学生が作品を展示することを通して、おおい町をARTを通じて若い世代の方々が町内外を問わず楽しく集う場としての活性化を目指す。学生は自らの作品の発表に加えて展覧会テーマ、広報、展示構成、記録資料作成、展覧会に関する経費の流れなど展示に関わる全般を学んだ。また、若い世代へのおおい町への認知・理解を重要視しており、学生ににもおおい町を知ってもらうために搬入と併せて1泊2日で展示イベントと地域での交流を実施した。	10	なし
16	MMoP写真美術館プロジェクト2024	2024/4/1－ 2025/3/1	株式会社アマナ	芸術教養センター	岡村 暢一郎	MMoPにおけるプログラムディレクター人材の育成 これまでの実績を踏まえて新たなワークショッププログラムの構築・監修・実施した。よりインクルーシブな視点で多様性のあるワークショッププログラムの実践を行った。	0	なし

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要　＊200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

<ウルトラファクトリー>

1	ヤノベプロジェクト2024「BIG CAT BANG！」	2024.5-2025.3	—	ウルトラファクトリー	ヤノベケンジ	作品制作や発表の現場をとおして美術家・ヤノベケンジの理念、思考、技術、戦略を体得するプロジェクト。24年度は、東京青山にある岡本太郎記念館での個展用作品制作、茨木市の文化施設「おにクル」展示用の作品制作とイベント企画運営、アニメーターの米山舞とのコラボ作品制作の他、小豆島での展示作品制作から現地に向いて設置作業を行うなど1年を通して、ヤノベのアーティスト活動に関わり、経験を積むことができた。	7	あり
2	やなぎみわプロジェクト	2024.5-2025.3	—	ウルトラファクトリー	やなぎみわ	美術作家でありながら、演劇の世界に活動の場を広げるやなぎみわによるプロジェクト。24年度は、大佛次郎賞の賞杯制作のためやなぎの作品を3Dスキャンし素材の検討から制作、モチーフの巾着、賞杯保管用の木箱の制作を行ったほか、やなぎ脚本の公演の準備運営などに携わった。また、制作だけでなく、展覧会やトークイベントなどへ参加する勉強会も行われ、思考面でも考えを広げ深めるアプローチがなされた。	6	あり
3	ULTRA_Sandwich #20	2024.5-2025.3	—	ウルトラファクトリー	名和 晃平	名和晃平が主宰する、クリエイティブ・プラットフォーム「Sandwich」における制作、企画、運営に学生が参加するプロジェクト。24年度は、Sandwichで生み出される作品や舞台演出の実験に関わりながら、ダミアンジャレとの協働によるパフォーマンス作品《Mirage[transitory]》の博多公演に向けた舞台装置の実験やダンサーが全身に浴びるマテリアル研究などに携わった他、名和がディレクションする京都BALの作品総入れ替え作業、東京有明で実施した子ども向けワークショップ企画に参加した。	4	あり
4	日野町プロジェクト	2024.5-2025.3	—	ウルトラファクトリー	dot architects	建築家ユニットdot architectsとともに、滋賀県蒲生郡日野町に工芸を中心とした小規模多機能施設の建設を行い、産業の創出と地域づくりを行うプロジェクト。2022年度から始まった活動を引き継ぎ、これまでの成果を発表した企画が滋賀県立美術館で開催され、プロジェクトで制作された非電化ろくろを使用したワークショップの運営に携わった他、ピザ窯の上屋のデザインと施工を実施し完成させた。22年度から始まった本プロジェクトで計画された内容を完了させることができた。	18	なし
5	BYEDIT	2024.5-2025.3	—	ウルトラファクトリー	多田 智美、 竹内 厚	「編集」の力をつかいながら、モノはつくらず、出来事やメディアを作り出すプロジェクト。毎週企画編集会議を行い、独自の切り口からイベントや冊子、ウェブサイトなどを企画、制作する。24年度は、ウルトラの年刊誌「THE ULTRA vol.17」制作に向け、24年度の各プロジェクト参加学生へのインタビューや、ウルトラプロジェクト、工房スタッフへの取材も行ったほか、学生インタビューの様子をInstagramにてLIVE配信し、その様子を切り抜いて制作したポスターを茶山駅の駅舎ギャラリーにて展示した。	10	あり
6	BUYBYPRODUCTS プロジェクト	2024.5-2025.3	—	ウルトラファクトリー	矢津吉隆（副 産物産店）、 山田毅（副産 物産店）、 松本尚子、中 村紀章、 水迫涼汰	廃棄物、余剰資材など、アートやデザインの現場から出る廃材を”副産物”と呼び、新たな価値を見出し、アーティスト、建築家、デザイナーと学生が協働して、プロダクトの開発や実験を行なうプロジェクト。24年度は、学内資材循環のための「みどりの箱」の運用、資材提供イベント「みどり市」を開催した他、亀岡アップサイクル用に廃材を使用した本棚、野菜販売棚の制作や、ディレクターの事務所が施工している個人邸の内装の施工、SIBO 京都北山の「人工絞り丸太」を用いたポスター制作など各ディレクターの仕事に携わった。	16	あり
7	MILESTONES	2024.5-2025.3	—	ウルトラファクトリー	細尾 真孝	西陣織の老舗「細尾」が所蔵する約2万点の帯図案をデジタルアーカイブし、世界のラグジュアリーマーケットに向けて伝統素材を用いた新たな展開を企画、実現するプロジェクト。24年度は、ピクセルアート制作を中心に活動。これまでアーカイブした14,300点の図案から学生自身が数点選んで配色、ピクセル化などについてクリエイティブユニット「SPREAD」からアドバイスを受けながら制作を進めた。また、制作されたピクセルアートの展覧会の企画立案や、某ハイブランドのモノグラムになる図案の提案にも行った。	8	あり
8	The Projercted Image Laboratory	2024.5-2025.3	—	ウルトラファクトリー	山城 大督	「時間」をテーマに映像メディアを用いた作品を展開するアーティスト・山城大督によるプロジェクト。コミュニケーションや発信のメディアとして必要不可欠となった映像やオンラインコンテンツの役割や表現について、映像制作や配信のスキルを身につけながら実践的に開拓、探求する。24年度は、ロームシアター京都での「劇場の学校」にてワークショップ実施、SHARP×京都芸術大学 プロダクト製品の広報映像制作、「おにクルこども大学 映像メディアワークショップ」の広報チラシの制作や記録映像の撮影、編集に携わった。	5	あり

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要　＊200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
9	COLORFUL LAB.	2024.5-2025.3	—	ウルトラファクトリー	増田セバスチャン	一貫した独特な色彩感覚からアート、ファッション、エンターテインメントを横断するアーティスト、増田セバスチャンが実施するプロジェクト。24年度は、北加賀屋に設置されているパブリックアート「New Generation Plant」を解体しーから樹脂制作班とマテリアル制作班にわかれて作品制作を行い、作品設置まで携わった。制作は増田のアシスタントを務めるスタッフから直接指導を受けながら日報をつけ、毎回増田に進捗報告。現地で増田から最終確認を受けるなど、プロの現場を経験する機会となった。	29	なし
10	笹岡由梨子のひとり万博プロジェクト	2024.5-2025.3	—	ウルトラファクトリー	笹岡　由梨子	関西を拠点に国内外で活躍、一度見たら忘れられないビデオ・インスタレーションで注目される現代美術家/笹岡由梨子のプロジェクト。24年8月に東京・表参道で開催された「Made in Shiga」展のための作品《LOVERS》の制作や、25年3月のグランフロント大阪「ART SCRAMBLE 2025」に展示するための大型作品制作を行った。陶器や木材など様々な素材を使用した作品制作に関わりながら、ビデオ作品の撮影、映像制作などに携わる機会となった。	8	あり
11	フクセイクラブ〜刷り師所蔵のエディションを調査せよ！〜	2024.5-2024.10	—	ウルトラファクトリー	鳥居本　顕史	京都市伏見区にあるシルクスクリーン制作工房「京都孔版」ディレクターの鳥居本顕史による、複製技術に関する様々なトライアルを行うプロジェクト。ウルトラファクトリープリントラボに、本学の元教員である谷中和生が制作した、横尾忠則のポスターなど所蔵されており、24年度はそのエディションのアーカイブ化や当時の授業内容の再演など、技術的な視点から分析を行うとともに、その実習の成果展P.P.（コラボレーションの記録）を実施。また、展示会にあわせて谷中氏をゲストにトークイベントも実施運営に携わった。	3	なし

<社会実装支援課>

1	Cygames背景美術展開催	2024/5/30—20246/6	株式会社Cygames	社会実装支援課	浅埜　之博	Cygamesのゲームに登場する背景イラストを集めた展覧会「Cygames背景美術展2024-2025」を開催。	0	なし
---	----------------	-------------------	-------------	---------	-------	--	---	----

<舞台芸術研究センター>

1	実践！ボランティア講座「劇場フロントスタッフ講座」	2025/1	四万十市総合文化センターしまんとぴあ	舞台芸術研究センター	井出　亮	実践！ボランティア講座劇場フロントスタッフ講座を開催。一般の方への指導を責任をもって担うことで講師として参加した学生1名の社会人基礎力が向上した。	1	なし
2	松尾スズキ・リアルワークプロジェクト	2024/4—2025/2/28	京都市 ふるさと納税を活用した大学における地域連携等推進事業補助金	舞台芸術研究センター	森田　有紀 安藤　善隆 松尾スズキ	作家・演出家・俳優・大人計画主宰・シアターコクーン芸術監督である松尾スズキ教授と共に舞台芸術作品を考察し、実技指導のもと身体表現を探究しながら公演として発表するプロジェクト。	34	あり

<和太鼓教育センター>

1	KIDSDAY 2024 in 京都駅ビル	2024/4—2024/5	京都駅ビル開発株式会社	和太鼓教育センター	高木　克美 野田　　悟	京都駅ビルのイベント広場で毎年行われるゴールデンウィークの子供向けイベントにおいて、本学の和太鼓 恵が演奏を行った。	11	なし
2	伏見稲荷大社 本宮祭 和太鼓奉納演奏	2024/5/1—2024/7	伏見稲荷大社	和太鼓教育センター	高木　克美 野田　　悟	伏見稲荷大社において年に一度執り行われる神事。稲荷大神のご分霊を祀る全国の崇敬者が総本宮に参拝し、日々の御神恩に感謝する大祭。その大祭の1つの奉納イベントとして本学のサークル 和太鼓 恵がワークショップを含め、1時間の奉納演奏を行った。	34	なし
3	京都芸術花火2024	2024/6/26	京都芸術花火実行委員会	和太鼓教育センター	高木　克美 野田　　悟	2018年から始まり、5年ぶりに開催された京都競馬場にて行われる花火大会において、本学の和太鼓 恵がオープニング演奏を行った。	15	なし
4	同和園　秋祭り	2024/10/20	社会福祉法人 同和園	和太鼓教育センター	高木　克美 野田　　悟	同和園が毎年秋に行っている園の祭りにおいて、本学の和太鼓 恵が演奏を行った。	14	なし
5	鐘馗祭	2024/11/3	鐘馗ロード実行委員会	和太鼓教育センター	高木　克美 野田　　悟	京都芸術大学のまか通プロジェクトにおいて、京都市東山区内にある若宮八幡宮社の摂社として建立された鍾馗神社。本学の和太鼓 恵が演奏を行った。	2	なし
6	じどうかんフェス	2024/11/16	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会 京都市吉田児童館	和太鼓教育センター	高木　克美 野田　　悟	吉田児童館において小学生100名程に向けて本学の和太鼓 恵が演奏を行った。	7	なし
7	旭警察署・旭消防署による歳末警戒部隊発隊式	2024/12/2	大阪府旭警察署	和太鼓教育センター	高木　克美 野田　　悟	大阪市旭区の旭区民ホールで旭警察署・旭消防署合同歳末警戒部隊発隊式が開催され、本学の和太鼓 恵が演奏を行った。	7	なし

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要　＊200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

<アート・コミュニケーション研究センター>

主催事業

1	主催セミナー「大学生と学ぶ対話型鑑賞ファシリテーション講座」	2024年7月～ 2025年3月	－	アート・コミュニケーション研究センター	伊達 隆洋 吉原 和音	美術館や学校教育機関、ビジネスや医療分野の人材育成への活用など対話型鑑賞が広く普及し始めた一方で、実施者であるファシリテーターの技術を学べる場や機会の少なさという課題に対し、講義と実践を交えたセミナーをオンラインにて開講した。すべてオンラインでの実施、国内だけでなく海外居住者も参加受け入れをおこなった。プログラム運営をASP学生と協同し、学びの実践の場として、また社会人と学生の交流の場として運営を行った。	9	あり
2	主催セミナー「ACOPgym」	2024年4月～ 2025年3月	－	アート・コミュニケーション研究センター	伊達 隆洋 吉原 和音	上記主催講座の修了生を対象としたプログラム（ファシリテーション実践、レクチャー、美術館をフィールドにした鑑賞ツアーなど）を実施。	2	なし

受託事業

1	サントリーホールディングス(株) 「応募型社内研修(オンライン) 」	5月13,14日	サントリーホールディングス株式会社 ピープル&カルチャー本部 サントリー大学	アート・コミュニケーション研究センター	伊達 隆洋	公募型社内研修における対話型鑑賞を活用したビジネスパーソン研修プログラムの企画開発及び実施。	0	なし
2	茨木市教育委員会「教員対象（小中学校）対話型鑑賞研修」	7月30,31日	茨木市教育委員会	アート・コミュニケーション研究センター	吉原 和音 (共同研究者：春日 美由紀)	茨木市全域の教職員（小学校・中学校）を対象とした、対話型鑑賞の実践（出前）授業と研修を実施。※小学校教員7名、中学校教員9名が参加。	0	なし
3	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「社内研修」	8月23日	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	アート・コミュニケーション研究センター	伊達 隆洋	社内研修における対話型鑑賞を活用したビジネスパーソン研修プログラムの企画開発及び実施。	0	なし
4	東京海上日動火災保険株式会社 「社内研修」	9月29日	東京海上日動火災保険株式会社 東京自動車損害サービス部 損害サービス第四課	アート・コミュニケーション研究センター	伊達 隆洋	社内研修における対話型鑑賞を活用したビジネスパーソン研修プログラムの企画開発及び実施。	0	なし
5	大阪府立江之子島文化芸術創造センター（enoco）コレクション展関連イベント 「対話型鑑賞ツアー監修実施」	9月17,18,20日	大阪府立江之子島文化芸術創造センター（指定管理団体 吉本興業株式会社）	アート・コミュニケーション研究センター	吉原 和音 有光 晴香	大阪府20世紀美術コレクションの活用事業として、大阪市内の小学校を招待した鑑賞プログラムの監修と実施。 ※対象校・クラス内訳：大阪市立本田小学校3年生4クラス、大阪市立明治小学校4年生3クラス、大阪市立西船場小学校4年生2クラス	3	なし
6	おおさか創造千島財団 「MASK（MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA）Open Storage 2024ー拡張する収蔵庫ー」対話型鑑賞鑑賞ツアー	10月27日	おおさか創造千島財団 堀様	アート・コミュニケーション研究センター	吉原 和音	小学生、中学生以上を対象にした鑑賞プログラム（ツアー）を、センター監修のもと、アートプロデュース学科2回生が企画・運営・実施。	4	なし
7	Art Collaboration Kyoto（ACK）「キッズプログラム／対話型鑑賞ツアー監修実施」	11月1,2,3日	Art Collaboration Kyoto 実行委員会事務局	アート・コミュニケーション研究センター	吉原 和音 有光 晴香	アートフェアにおける教育普及プログラムの一環として、鑑賞ツアーの企画監修実施を行った。またACK事務局にインターンシップ生としてASP学科の学生1名を派遣し、キッズプログラムの実施サポートを担った。	3	あり
8	旭川美術館・旭川市立大学共同研究プロジェクト研修 「アートを通じた対話の力」	9月21日	旭川市立大学 旭川美術館	アート・コミュニケーション研究センター	伊達 隆洋 (共同研究者：奥原 真仁)	北海道・旭川市立大学の保健福祉学部保険看護学科の共同研究プロジェクトにて、対話型鑑賞を活用した研修を実施。学芸員や研究者に向けた鑑賞レクチャーやワークショップを行った	0	なし

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要　＊200-250字を目安としてください	学生関与 （人数）	単位認定
9	静岡市市民活動センター 「市民対象の鑑賞講座」	11月17日	静岡市市民活動センター 一般社団法人マチテラス製作所	アート・コミュニケーション研究センター	吉原　和音	対話型鑑賞に関する講座およびワークショップを実施。	0	なし
10	一般財団法人地域創造「公立美術館活性化事業 美術館研修事業（鹿児島市立美術館）」	11月19日	一般財団法人地域創造 公立美術館活性化事業担当	アート・コミュニケーション研究センター	伊達　隆洋	一般財団法人地域創造　公立美術館活性化事業（助成）を活用し、鹿児島県内の公立・私立美術博物館の学芸員および職員を対象とした、対話型鑑賞を活用した研修（鑑賞レクチャーやワークショップ）を行った。	0	なし
11	茨木市文化振興課「市民対象　対話型講座＆鑑賞会」	11月30日、12月7日、12月21日、2025年1月25日	茨木市市民文化部	アート・コミュニケーション研究センター	吉原　和音 （共同研究者：春日 美由紀）	茨木市民対象とした対話型鑑賞実践講座（全5回）、鑑賞会（全2回）を実施。	0	なし
12	長久手市文化の家「鑑賞力UPのための市民講座」	2025年2月1日	長久手市文化の家	アート・コミュニケーション研究センター	伊達　隆洋	長久手市民対象とした対話型鑑賞実践講座（2年目）を実施した。	0	なし
13	山梨県立美術館「ボランティア対象ファシリテーター育成研修」	2025年2月15日	山梨県立美術館 学芸課　教育普及担当	アート・コミュニケーション研究センター	伊達　隆洋 吉原　和音	山梨県立美術館の学芸員・職員および鑑賞ボランティアを対象とした、対話型鑑賞ファシリテーター育成のための研修（鑑賞レクチャーやワークショップ）を行った。	0	なし
14	Re;Signing Project（アーツカウンシル東京）「ろう者対象の鑑賞ガイド人員育成に向けた研修」	2025年3月22日	Re;Signing Project（アーツカウンシル東京）	アート・コミュニケーション研究センター	伊達　隆洋	一般およびろう者を対象とした、対話型鑑賞ファシリテーター育成のための講座（鑑賞レクチャーやワークショップ）を行った。	0	なし
15	CCCの楽校2024・CCC frontier festival2025特別企画「市民対象 対話型鑑賞講座」	2025年3月23日	静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター（CCC）	アート・コミュニケーション研究センター	吉原　和音	対話型鑑賞に関する講座およびワークショップを実施。	0	なし

共同研究事業

1	iPS細胞研究所 「細胞の人為的改変に関する制度論と印象論」研究協力	2024/4-2025/3	iPS細胞研究所	アート・コミュニケーション研究センター	伊達　隆洋	先端科学医療に関する法整備は日進月歩の技術革新に追いついていないのが現状である。しかし、生命尊重の観点から鑑みても法整備は最重要課題と言える。その整備に向けて、一般人の細胞の人為的改変に関する意識をArtを切り口に考察していこうという試みに協力することになった。医療や先端科学を意識しないでArt作品に対話を通して親しむ姿から、人の意識の奥にある倫理観を探る手立てについてどのような作品からアプローチするのか考察していった。	0	なし
2	大阪教育大学付属支援校令和5年度　研究計画（ユニット研究用）「知的障害特別支援学校美術科における対話型鑑賞の実践的研究」	2024/4-2025/3	大阪教育大学付属支援校	アート・コミュニケーション研究センター	吉原　和音	知的障害特別支援学校美術科における対話型鑑賞の実践へ観察参与および、研究検討ミーティング、論文校正を実施。	0	なし

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要　＊200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
＜日本庭園・歴史遺産研究センター 日本庭園研究部門＞								
1	彦根城博物館内庭園修景整備委託業務	2024/5/8― 2025/3/31	彦根市教育委員会	日本庭園・歴史遺産 研究センター 日本庭園研究部門	仲　隆裕 片石　高幸 荻野　史枝	本業務は、特別史跡彦根城跡内に配置されている彦根城博物館（表御殿）の庭園において、修景整備と適切な維持管理を図るため、主要樹木の剪定および博物館作業員への技術指導を行う。	3	なし
2	市指定文化財「荒木氏の庭園」平面図作成業務	2024/4/1― 2024/6/21	小松市	同上	仲　隆裕 徳村　高秀 荻野　史枝	本業務は、石川県小松市に所在する小松市市指定文化財「荒木氏の庭園」において、機械を用いスケール1/50サイズの実測平面図を作成し、文化財の記録保存に寄与する。	3	なし
3	R6名勝玄宮楽々園植栽整備委託業務	2024/4/1― 2025/3/31	彦根市	同上	仲　隆裕 片石　高幸 荻野　史枝	業務は、特別史跡彦根城跡の藩主下屋敷名勝玄宮楽々園において、作庭当初の庭園植栽景観を汲み取った景観に復元することを目指した主要景観植栽（特別管理樹木）の整備業務を委託されたものである。委託内容には名勝の管理指導も含まれており、当研究所からアドバイザーとして所員を派遣する。主要景観植栽及びそれ以外の植栽管理、また日常の管理行為について、名勝としての景観を日常で保全するための心構えと保存技術に係る講習や指導を行う。	3	なし
4	令和6年度京都府庁庭園整備修景監理業務	2024/4/1― 2025/3/31	京都府庁	同上	仲　隆裕 片石　高幸 荻野　史枝	本業務は、京都府庁の旧本館前庭および敷地内庭園の過度に成長した樹木を伐採・剪定することにより、庭園景観の調和及び旧本館等への眺望の回復を図ることを目的とするものであり、施工業者へ伐採・剪定方法等の監理・指導を行い、旧本館及び文化庁や周辺の景観と調和する修景整備を行えるよう修景監理を行う。	3	なし
5	令和6年度伏見稲荷大社庭園整備のための計画設計業務	2024/6/25― 2025/3/28	伏見稲荷大社	同上	仲　隆裕 徳村　高秀 荻野　史枝	本業務は、伏見稲荷大社本殿の南に位置する御茶屋および松の下屋の前に展開する庭園を対象とし、毀損箇所の整備を行うための計画設計を立案する。 庭園の敷地は、御茶屋周辺および松の下屋の東側斜面に広大な面積を有しており、茶室（瑞芳軒）、供待、袴付所、残香亭を配する構成で、植栽は松を中心に灌木にはツツジ類が多植され庭を彩り、地割は園池と流れ、周遊園路からなる。現地調査を行い毀損箇所の整備計画設計を行う。	3	なし
6	令和6年度日本万国博覧会記念公園日本庭園におけるクロマツ等剪定指導業務	2024/9/1― 2025/3/31	阪神造園建設業協同組合	同上	仲　隆裕 片石　高幸 荻野　史枝	本業務は、大阪府吹田市に所在する日本万国博覧会記念公園内にある日本庭園を対象に、植栽等景観創出業務として、園内の主要な植栽であるクロマツを中心に剪定技術の指導を行う。 万博日本庭園は大阪府が管理団体となっており、庭園管理を阪神造園建設業協同組合に委託している。委託仕様に「万博日本庭園の植栽管理にあたっては、専門家からの指導等を仰ぐこと」という規定が定められていることから、文化財修理を専門としている当研究機所に依頼がきた。	3	なし
7	令和6年度日本万国博覧会記念公園日本庭園植栽等景観創出業務に係る修景管理技術指導	2024/9/1― 2025/3/31	阪神造園建設業協同組合	同上	仲　隆裕 片石　高幸 荻野　史枝	本業務は、大阪府吹田市に所在する日本万国博覧会記念公園内にある日本庭園を対象に、植栽等景観創出業務として、園内景観の修景の指導を依頼されたものである。 万博日本庭園は大阪府が管理団体となっており、庭園管理を阪神造園建設業協同組合に委託している。委託仕様に「万博日本庭園の植栽管理にあたっては、専門家からの指導等を仰ぐこと」という規定が定められていることから、文化財修理を専門としている当研究機所に依頼がきた。	3	なし
8	令和6年度 国指定名勝「妙国寺庭園」池修理工事	2024/9/1― 2025/3/31	日向市	同上	仲　隆裕 吉村　龍二 荻野　史枝	本業務は宮崎県日向市に所在する名勝妙国寺庭園の池修理工事の設計監理を委託されたものである。	0	なし
9	名勝玄宮楽々園高橋架替工事実施設計委託業務	2024/8/7― 2025/3/13	彦根市	同上	仲　隆裕 矢ヶ崎善太郎 荻野　史枝	本業務は、滋賀県彦根市に所在する名勝玄宮楽々園の高橋の架け替えに係る設計業務である。昭和 26 年に名勝に指定されている玄宮楽々園は、彦根城の城内に遺る江戸時代の大名庭園で、国内外から多くの来場者が訪れ、彦根市内の周辺地域とともに親しまれている歴史的庭園文化財である。 木造橋の架替は、文化財および様式美の維持をはかり、庭園の周遊動線をこれまでと同様に維持することを目的に、調査の上で架け替えのための設計を行う。木造橋の設計には歴史調査や建造物に係る知見、文化財に造詣が深いことが求められており、それらの理由から当研究所に委託された。	3	なし
10	令和6年度空中茶室閑雲軒復元プロジェクト	2024/11/1― 2025/3/19	国立大学法人京都大学	同上	仲　隆裕 日向　進 木村　栄美 町田　香	本業務は、江戸時代に石清水八幡宮に所在した松花堂昭乗の茶室・閑雲軒の復元を目的としたプロジェクトで、復元の材料となる閑雲軒に関する資料調査や分析、模型製作、図面作成などを国立大学法人京都大学から委託された。	0	なし
11	令和6年度京都府庁内庭園植栽設計業務	2024/9/6― 2024/11/29	京都府	同上	仲　隆裕 片石　高幸 荻野　史枝	本業務は、京都府庁内庭園樹木の伐採・剪定及び除草を行うことにより、眺望の確保及び景観向上を目的とするものである。 設計書作成においては、府庁の歴史的背景を調査し、調査成果を精査した上で、景観的に不要と判断する樹木等の根拠を持った調査計画を行い、その計画に基づき整備設計書を作成する。	3	なし
12	令和6年度御茶屋・松の下屋庭園植栽整備	2024/2/12― 2025/3/31	伏見稲荷大社	同上	仲　隆裕 徳村　高秀 荻野　史枝	本業務は、伏見稲荷大社本殿の南に位置する御茶屋および松の下屋の前に展開する庭園を対象とし、次年度（令和7年度）に実施する庭園整備事業の前に、明らかに建物を傷める原因となっている植栽の伐採、大枝下ろし剪定等を先行的に実施し、毀損の防止を目的とする。	3	なし

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要　＊200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

<日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門>

1	真田山旧陸軍墓地の墓石保全の研究	2024/4/1－2025/3/31	真田山陸軍墓地維持会	京都芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門	伊達 仁美 関野 遊子	真田山旧陸軍墓地（大阪府大阪市天王寺区）において、これまでに回収され、保管していた墓石の破片を、元の墓石を特定し接合する復元作業の試みを行う。また、薬剤を用いた石質強化処理を行った墓石の内、処理後10年を超えたものの現状確認および状態に応じた再処理を順次行っていく。	0	なし
2	財団法人大阪靖国霊場維持会「重要書類綴」の電子画像化	2024/4/1－2025/3/31	真田山陸軍墓地維持会	京都芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門	大林 賢太郎 関野 遊子	真田山陸軍墓地維持会が管理する【財団法人大阪靖国霊場維持会「重要書類綴」】の電子画像化	0	なし
3	歴史資料修復業務	2024/7/30～2025/3/31	滋賀県立琵琶湖博物館	京都芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門	大林 賢太郎	琵琶湖博物館保管 明治期河川地図の実測記録のうち「天野川実測平面図二」 保存修理	5	なし
4	知覧特攻平和会館所蔵紙資料修理補助	2024/9/19－2025/3/13	NPO法人 文化財保存支援機構	京都芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門	大林 賢太郎	文化財保存支援機構の監督・作業指示のもと、知覧特攻平和会館が所蔵する紙資料の補修作業・補修紙作製・保存用封筒作成等の作業を行う。	4	なし
5	町指定文化財佐伎治神社鰐口修理	2024/12/26－2025/2/28	宗教法人佐伎治神社	京都芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門	溝邊 悠介	佐伎治神社所蔵（高浜町郷土資料館寄託資料）の鋳銅製鰐口（高浜町指定文化財）について、内部の腐食（酸化）が著しいため、椿油を用いた防錆処置を行う。	1	なし
6	「膠着剤実験試料作成」作業委託	2024/12/5－2025/1/31	元興寺文化財研究所	京都芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門	大林 賢太郎	膠着剤実験試料の作成。製造した2種の和紙に5種の膠着剤を塗布したものを作成する。	1	なし
7	さかい待庵起こし絵図制作作業	2024/6－2025/3	大阪ガスビジネスクリエイト株式会社 事業開発本部 施設運営事業部 堺市立歴史文化にぎわいプラザ さかい利品の杜	京都芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門	木村 栄美	本学歴史遺産学科前学科長の故・中村利則教授が監修した茶室「さかい待庵」の起こし絵図（*折り畳み式の茶室の模型）を制作する。「さかい待庵」は堺市にとって今後重要な文化財として位置づけられ、本事業で制作した起こし絵図は、その保存・修復、観光推進施設としての活用等を検討、提案する上でも重要な資料になると考えられる。	2	なし
8	起こし絵図ワークショップ開催協力費	2025/3/1	大阪ガスビジネスクリエイト株式会社 事業開発本部 施設運営	京都芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門	木村 栄美	「さかい待庵起こし絵図 ワorkshop」開催にあたる、参加者への当日対応	2	なし
9	平野屋新田会所杉戸絵 展示用応急処置業務委託	2024/6/10－2024/7/19	大東市立歴史民俗資料館	京都芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門	大林 賢太郎 溝邊 悠介	大東市歴史民俗資料館（歴史とスポーツふれあいセンター）において、平野屋新田会所杉戸絵の展示を行うにあたり、絵具の剥落個所に対する応急処置を行うことを目的とする。 〈対象文化財〉 平野屋新田会所杉戸絵（表：虎溪三笑図 裏：波に千鳥図）右1面 平野屋新田会所杉戸絵（表：溪流遊虎図 裏：梅に朝日図）左右2面	0	なし
10	平野屋新田会所杉戸絵一面保存修理費	2024/5/24－2025/3/31	大東市立歴史民俗資料館	京都芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門	大林 賢太郎 溝邊 悠介	大東市所蔵「平野屋新田会所杉戸絵（表：虎溪三笑図 裏：波に千鳥図）1面」の剥落止め、および断裂箇所との接合	1	なし
11	生身天満宮所蔵 四神 絵具分析	2024/4	株式会社さわの道玄	京都芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門	大林 賢太郎 増渕 麻里耶	生身天満宮（京都府南丹市園部町）が所蔵する、四神の絵具分析	0	なし
12	「久多の里山文化活性化プロジェクト」の展示準備支援委託	2024/4－2025/3/31	久多自治振興会	京都芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門	伊達 仁美 溝邊 悠介 関野 遊子	「久多の里山文化活性化プロジェクト」における、2024年秋に開催の展示準備支援を行う。また展示の開催に合わせて冊子「Old and New2 農業と日々の祈り」を発行する。	6	なし

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要　＊200-250字を目安としてください	学生関与 （人数）	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

<大学院・芸術環境専攻>

1	安曇野市滞在制作事業	2024/4－ 2025/3	長野県安曇野市	芸術環境専攻超域制作学プログラム保科ラボ	保科　豊巳 大橋　文男	長野県安曇野市では東京藝術大学と本学と連携して大学院生の滞在制作事業（制作・展示場所の提供と制作費支援）を行っているが、本学では大学院生が現地の風土や歴史を調査の上で滞在制作を行い、それぞれの成果を公民館、美術館、市役所等の複数箇所に展示する行うだけでなく、ゼミの授業の一環として、安曇野市の中学、高校と協力して、生徒たちに院生がチューター役となって制作を支援する共同制作ワークショップもおこなっている。	10	なし
---	------------	-------------------	---------	----------------------	----------------	--	----	----

<文明哲学研究所>

1	藍の学校　実践型アートマネジメント・人材育成プログラム	2024/4/1－ 2025/3/31	文部科学省	デザイン工芸研究センター準備室	吉岡　洋 三田村　有芳 梅崎　由起子	これからの作家、アートマネジメントを行う人材には『環境に配慮した持続可能な物作りの思考』が資質として不可欠です。工芸は長い年月をかけてその地域に最適化された歴史を持ち、環境に対する配慮や多様な生物との共存への試みの蓄積があります。それらを文化、技術、科学などさまざまな視点から改めて捉え直すことで『環境に配慮した持続可能なものづくりの思考』を抽出できると考えました。世界各地で文化を形成している「藍」を通して工芸の文化を再考し、日本の工芸から世界の工芸へと視点を移しながら現代社会に求められている新しい思考を見出します。本事業は4つのプログラムで構成。知識を身につけ実践を通して技術を学びそれを生かして作品を制作するスタイルです。スキルアップの効果と共に考えをカタチにする構築力と行動力が身につくことを目指します。	0	なし
---	-----------------------------	------------------------	-------	-----------------	--------------------------	---	---	----